

【優秀賞】愛媛新聞社賞

「LGBTQ が体験していること」 鬼北町立広見中学校 匿名

私は、学校の人に言えず、隠していることがあります。それは、私がトランスジェンダーFTM ということです。私は、幼少期の頃からずっと、性別に違和感を感じていました。友達も男子が多く、女子といるより、男子といるほうが楽しかったです。

中学校の人権集会で、KABA. ちゃんが講演に来てくださいました。私はそこで、LGBTQ について詳しく知りました。話を聞いていたら、自分に似ていると思いました。そこで、さらに家で調べてみると、自分に当てはまるものがたくさんありました。今までもやもやしていたことがすっきりして、ほっとしました。

私は、小学校二年生くらいまでは長い髪で、くくることができるくらいの長さでした。服装も、女子用子供服を着ていました。しかし、三年生の頃くらいから、だんだん髪が短くなっていきました。四年生くらいからは、男子用子供服ばかりを着るようになりました。今では、男子と同じくらいの髪の短さで、持っている服全てがメンズ服です。公共のトイレに入ったら、時々二度見されることがあります。だから、買い物に行ったとき、トイレに行かないようになりました。

私の通った小学校は、制服がありました。小中とずっと制服を着ていて、思っていることがありました。それは、なぜスカートなんだろうということです。小

学校に入学して、決められた制服を着たとき、スカートをはいたら、とても嫌だと感じました。中学に上がると、セーラー服になりました。男女に分けられたり、女子として学校生活を送るのが苦痛だと感じるようになりました。

一年は我慢して生活しました。しかし、二年生のとき、我慢の限界が来ました。勇気を出して、母にカミングアウトしました。すると、思ってもいない言葉が返ってきました。

「ああ、やっぱりそうやったん。」

気付いとしたよ、とも言われました。とても驚きました。そして、母に受け入れてもらうことができました。母だけにでも受け入れてもらうことで心に少し余裕が持て、安心することができました。カミングアウトしたことによって、ずっと欲しかったナベシャツも買ってもらうことができました。コンプレックスだった胸も隠せるようになり、猫背も少し改善されました。

次は、制服です。私は、制服を変えてほしいという要望を伝えました。しかし、「他の学校もまだ変えていないから難しい」と言われました。半年後、もう一度伝えると、答えは同じでした。三年生になり、親にも言ってもらいました。そうしたら、検討中と言われました。そして数か月後、ついに、あるプリントをもらいました。それは、「来年からブレザーになり、ズボンなどを選べる」というプリントです。残念ながら、私は、今年で卒業です。なぜもっと早く制服を変えて

くれなかったんだろうと思いました。でも、こんなふうを選べるようになって、これで、自分のありのままを過ごせるようになると思うと、うれしくなりました。

私は、本当は、作文を書くときに、「僕」と書きたいと思っていました。話すときも、ずっと「僕」や「俺」などと言いたいと思っていました。しかし、急に「俺」などと言ったら、みんなに驚かれてしまうと思い、全然言えませんでした。でも、いつか、親友にだけは、勇気をもってカミングアウトしたいと思います。そして、自分を受け入れてほしいと思います。いつもどおり接してもらえたらうれしいです。今年、スマホを買ってもらいました。まずは、そこで、親友に打ち明けてみようかと思っています。

最後に、一人称を変えて、自分の気持ちを自分の言葉で述べます。

僕は、成人したら、タイに行って性別適合手術を受けようと思っています。そして、僕と同じ境遇の人や、困っている人をたくさん助けたり、救ったりしたいと思っています。大人になったら、この世の中を、いろいろな人が楽しく自由に暮らすことのできる世界に変えていきたいと思っています。